

令和7年度 本庄中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年	実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3年	学校	111	55	55	4.9	7.2
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	514
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 本庄中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>

平均正答率が大阪市平均を3ポイント、全国平均を0.7ポイントともに上回る結果であった。無解答率の低さも日頃のテストへの取り組み方の習練成果と考えられる。また、書くこと、読むことの正答率のポイントの高さも授業内のトータルとしての言語活動の習熟の成果と考えられる。課題は、語彙に対する知識が伸びせなかつたことで、今後は日頃の漢字テスト等の取組み以上に語句の知識への取り組みが必要と思われる。

<数学>

平均正答率が4領域すべてで、大阪市の平均及び全国平均を上回り、特に「数と式」と「データの活用」の領域は大阪市平均を10ポイント以上上回った。これは、本校の教員の熱心な指導のもと、興味・関心と知識習得の両面の熱心な取組みの成果である。生徒が日頃から授業に集中して参加し、宿題や長期休暇の課題などに対して丁寧に取り組んでいることの成果だと考えられる。

<理科>

平均IRTスコアは、大阪市平均を25、全国平均を11上回ることができた。

【今後に向けて】

<国語>

引き続き、書くこと、読むこと(深く読みとり、分析し、自分の考え方を持つ)を主眼にした活動を習慣づけること。語句の知識を繰り返し学習することによって習得できる取組みをする。

<数学>

今後も基礎的、基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、各自の考え方を述べたりするなど、思考力を高められる授業に取り組ませる。

<理科>

今後も基礎・基本の定着を図るとともに、探究する活動を積極的にすすめる。

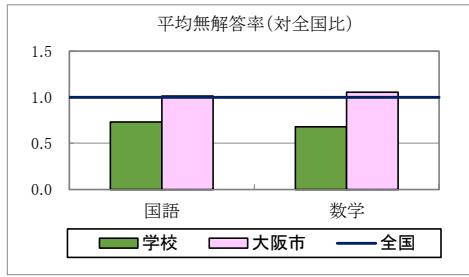
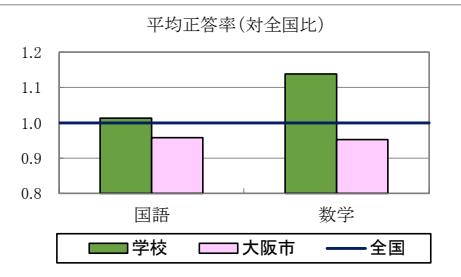
令和7年度 本庄中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	55	55
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

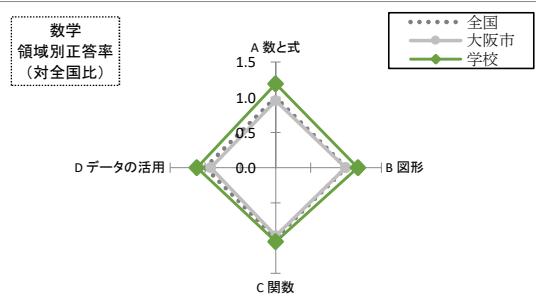
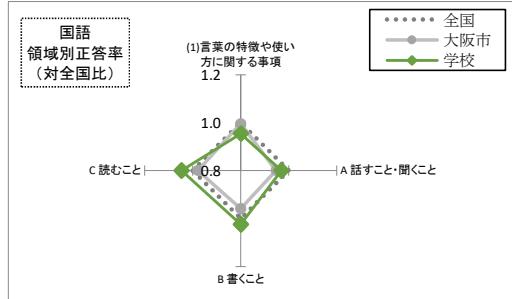
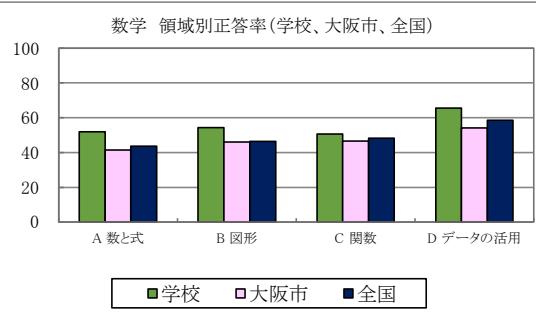
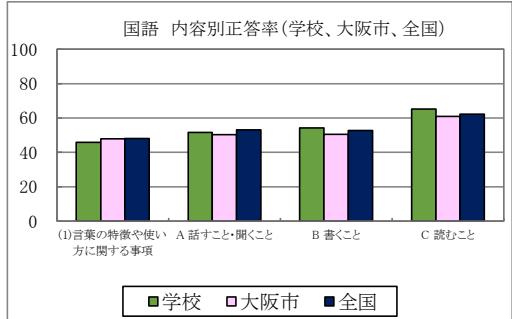
平均無解答率(%)	
国語	数学
4.9	7.2
6.8	11.2
6.7	10.6



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	45.9	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	51.6	50.4	53.2
B 書くこと	5	54.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	65.2	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	51.8	41.4	43.5
B 図形	4	54.3	46.1	46.5
C 関数	3	50.6	46.6	48.2
D データの活用	3	65.5	54.0	58.6

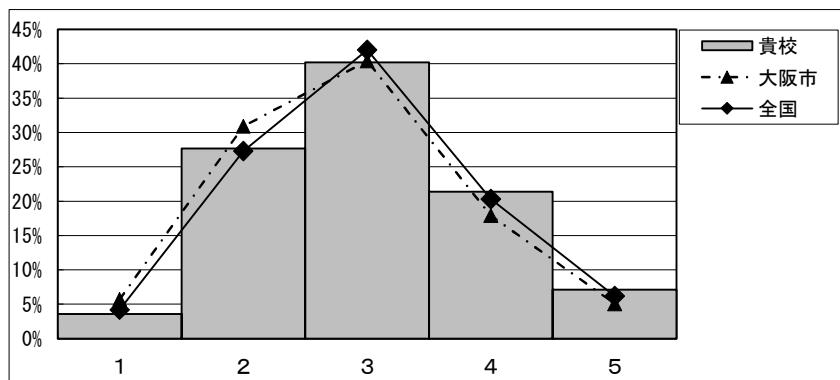
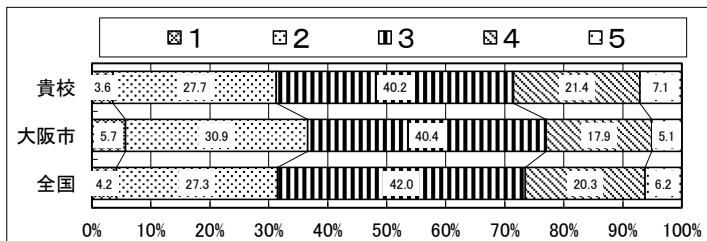


令和7年度 本庄中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	514
大阪市	489
全国	503



令和7年度 本庄中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

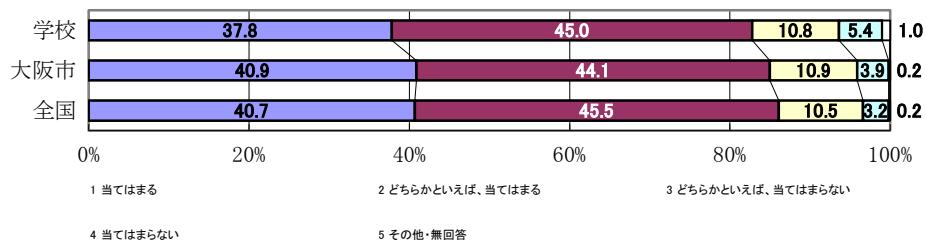
生徒質問より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

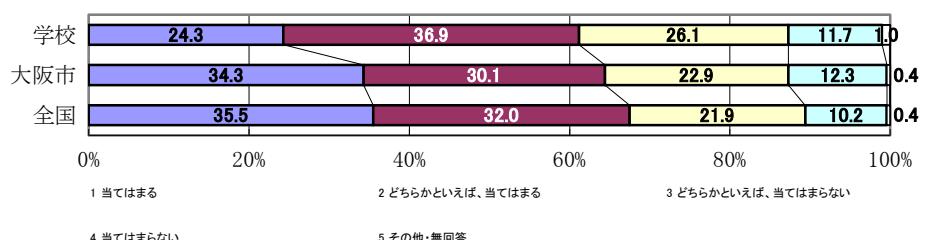
5

自分には、よいところがあると思いますか



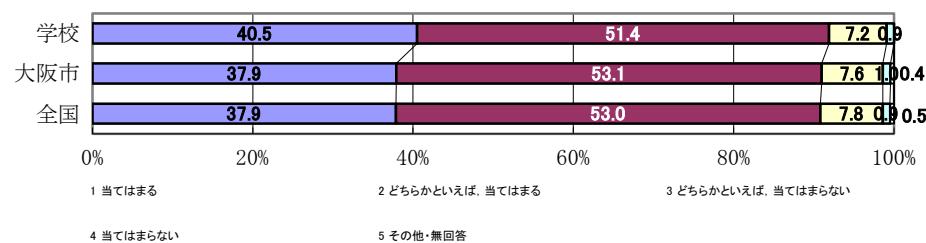
7

将来の夢や目標を持っていますか



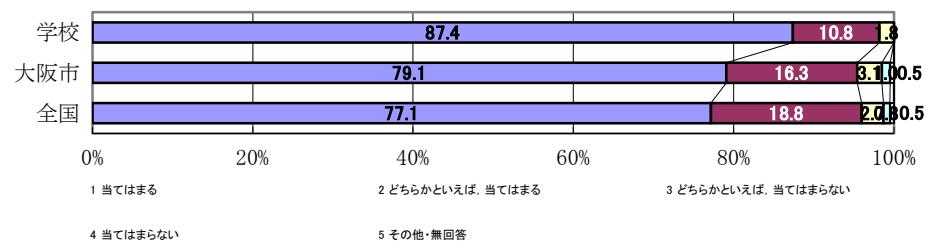
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



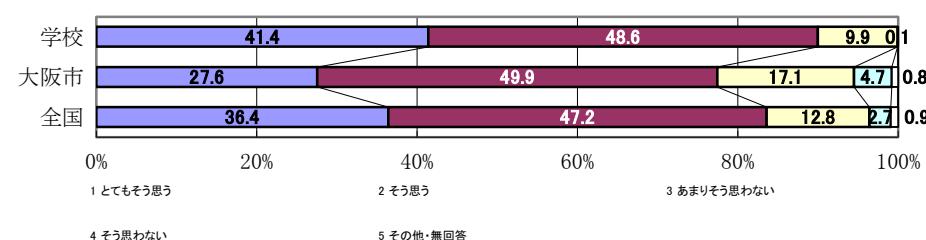
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



71

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか



令和7年度 本庄中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

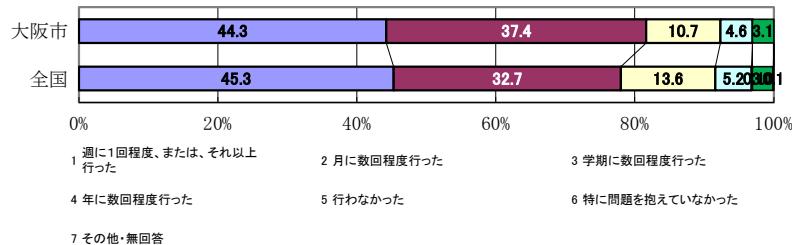
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

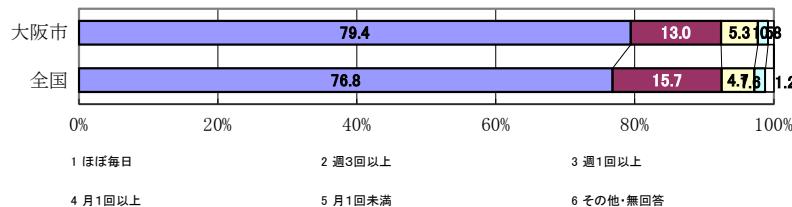
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

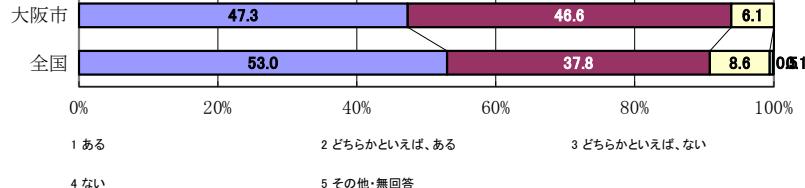
学校 「ほぼ毎日」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

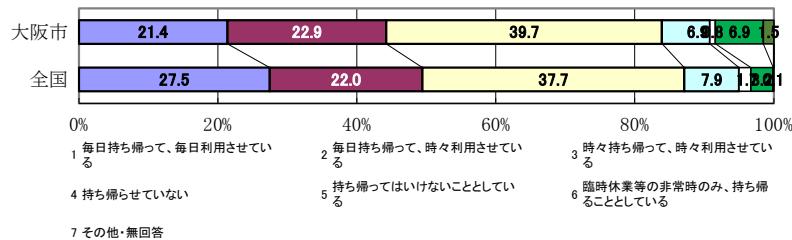
学校 「ある」を選択



66

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「毎日持ち帰って、毎日利用させている」を選択



73

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を行いましたか

学校 「行っている」を選択

